

ありば

「バリア」の逆は「ありば」。
 バリアフリーな社会を築くために、本誌はバリア反対!の意を込めて、「ありば」というタイトルにしました。
 みんなに住みよいまちを、みんなで築くために。
 人と人のバリアフリーコミュニケーションをご紹介します広報誌、それが「ありば」です。

VOL. **23**
 2012



表紙/長丸修一さんの作品「大隅横川駅」

霧島市横川町在住、39歳。学生時代に不慮の事故で首から下の運動機能を失った長丸修一さん。「それでも可能性を失ったわけじゃない。絵を描くことが生きる力です」と話し、筆を口にくわえて身の回りの風景を描き続けている。2009年、日本肢体不自由児協会賞受賞。



CONTENTS

【特集】

人に優しい快適空間を求めて
 かごしま県民交流センター&
 バリアフリーモデルハウス **PAGE 1**

ありばヒューマンドキュメント
 上馬場 恵一さん **PAGE 3**

ありば通心
 スペシャルオリンピックス
 スポーツプログラム
 (鹿児島県立出水養護学校グラウンド内) **PAGE 4**

ハードルを越えて
 長丸 修一さん **PAGE 5**

バリアフリー最前線
 鴨池公園水泳プール
 心の輪を広げる
 障害者理解促進事業 **PAGE 6**

鹿児島県からのお知らせ
 3月は「自殺対策強化月間」
 ~あなたもゲートキーパーに~
 特別障害者手当及び障害児福祉手当等の
 手当額改定について

